

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2498 号

Ultrasound-guided puncture reduces bleeding-associated complications, regardless of calcified plaque, after endovascular treatment of femoropopliteal lesions, especially using the antegrade procedure: A single-center study

超音波ガイド穿刺は特に同側順行穿刺における大腿膝窩動脈の血管内治療後の出血性合併症を石灰化プラークの有無に関わらず減少させる：単施設研究

福田 健太郎（ふくだ けんたろう）

博士（医学）

論文審査結果の要旨

本論文は、症候性の閉塞性動脈硬化症や重症虚血肢患者の大腿膝窩動脈に対する血管内治療における最も一般的な合併症である穿刺部の出血性合併症のリスク因子が 80 歳以上の高齢者、同側順行穿刺アプローチであることを明らかにし、そのリスクを低減させるために超音波ガイド穿刺が有用であることを明らかにした臨床的に意義ある論文である。穿刺部の出血性合併症に関する研究データは多く提示されているが、その多くが総大腿動脈の対側逆行穿刺を対象としている。近年、下肢動脈の血管内治療の領域はその技術やデバイスの進化により急速に発展している領域である。より複雑な病変に、より高リスクの症例に対する治療が行われるようになってきている。それに伴い、出血性合併症の多い同側順行穿刺を必要とする治療も増えてきているが、同側順行穿刺の出血性合併症に対する検証は不十分であった。本研究には多くの同側順行穿刺の症例が含まれており、より臨床現場で必要とされるデータを提示している。

よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。